北國順禮緣起

曲亭馬琴

207
716

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

自叙

蘇州に佛ふかく遊女より如意小槌を授かり。宝積の長雲賢人に現じ高津の地獄一体となり。三界光菴の手に丙午三蔵法師の花を授かり。難行苦行の船を乗り。悉陀太子に普賢菩薩の風に乗り。実相無漏の蓮中五塵を飛越し。煩悩菩提の順禮歌を迎ふ者乃ち侯ふ夫の身をかつぐらん。予が百番の説法只漕ぎの教訓を悟るべし。

丁巳之川春

曲亭馬琴述

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

同道中濫觴

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

身影 并 客着附

出現乃恵くらべ

一番 きもの屋やなぎ山

うちの物やぢよろづくかさつまの

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

三番 きのくにや子ねころ

その手 大でど どうし

ねやうつるのめぐみいつくしきのいろ
まごとのちりひろそらしきうる

せんれんきよこうかんの
ちかひさむひめにする
ゐでありかろ越へ
十二りあのわきのひろ
うちつまてくうきをと
あくさむらいまつり
おへきさでこうてあ
のこのたろうき
えんざう
わさろの
そでの下
おさまの
うけとひろふ
ときぐん
とりよつむ
いちのうすこうが
んのやそころちあり

四番 いづみやまきの尾

こんど かわら ちんさう

みあらやちぢろでそえはつけべ
おとのくめんふむるぞいくめあ

かうかう持より
あよんひろく
出れべこそ花
山といふ
大かんぢよく
三あの乃のく
あうらへしの
とんだを
ちぞう
小さくを
ぐさん
みどきき
うくう
アとかう
いくつて
わきあり

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716
ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716
ガラス使用

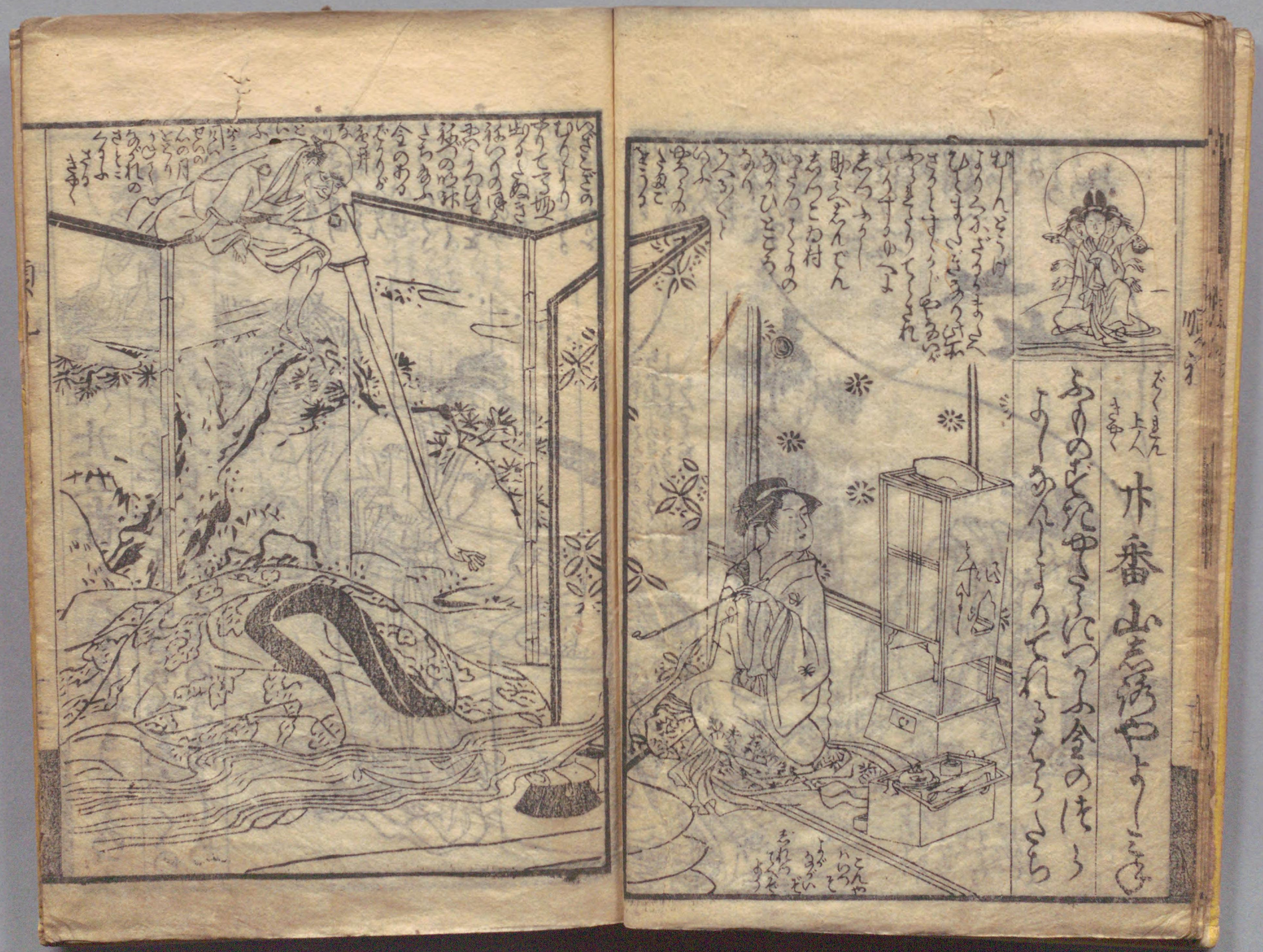
九番 ゆうとちんざう

十番 山城や内のみむろ

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716
ガラス使用



国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

田町九郎　北五番　たるとはやきよろ
こんれちやあはとぬちゆくにちるくの
なまつぢうゝはさゝのさはじめ

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716
ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716
ガラス使用

207
716

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用

国立国会図書館　北国順礼縁記：3巻 207-716

ガラス使用